



2025年8月22日

一般社団法人 万博サクヤヒメ会議

～中学生 x サクヤヒメ先生～
「未来シンポジウム」in EXPO2025
「2025 大阪・関西万博」ウーマンズパビリオンイベント

2025年8月20日(水)15:00～16:30 大阪・関西万博ウーマンズパビリオン WA スペースにて、
～中学生×サクヤヒメ先生 ～「未来シンポジウム」in EXPO2025 を無事に開催いたしました。
2021年より開催している万博サクヤヒメ会議のシンポジウムの第5回となる集大成と、2022年より
実施している「きかせて！サクヤヒメ先生」のコラボ企画として、ここ万博にて実現しました。

【第1部】 各学校プレゼンテーション「だったらいいなの社会を考える」

各校の発表は明るい未来に向けて、社会課題の気づきや解決策など、この数ヶ月ワーキングを通じて
感じたことを踏まえて発表。

- ・大阪府立 咲くやこの花中学校 「違いを受入れられる姿勢について」
- ・学校法人 四條畷学園 四條畷学園中学校

「心地よい空間のアイデア、ジブンらしさ、快適で安心できる場所」

- ・学校法人 箕面自由学園 箕面自由学園中学校

「配慮がゆえの生き苦しさ」と「誰かがつくった物語」

それぞれの学校ごとに、未来の働き方や生き方、あり方や環境、さらにSNSとの関わり方など、純粹かつ考え
られた発表。笑いもアリながら、まっすぐな彼らの意見に関係者はじめ、観客もじっと聞き入っていました。

【第2部】 パネルディスカッション「～心身ともに楽しく生きる未来を描こう～わくミラ★チャレンジ 2035」

- ・玉岡かおるさん(作家) 作家になった経緯と様々な経験にすべて意味があるという言葉に勇気をもらい、
「キラキラが溢れている社会」を目指そうというエールをもらいました。
- ・堀内都喜子さん(フィンランド大使館 広報部 プロジェクトコーディネーター)
フィンランドでの幸福感や、どんな環境でも人生の主役として自らを捉えるフィンランド人の幸福感につい
て、大きな世界観に触れることが出来ました。
- ・多田利音さん(大阪府立 咲くやこの花中学校 3年生) 言語分野する彼女の純粹で未来を見据えた発言
やまなざしに会場の聴衆も聞き入っていました。
- ・森なおみ(株式会社インプリージョン プロデューサー、一般社団法人 万博サクヤヒメ会議メンバー)から、
このシンポジウムに至るまでの2016年のサクヤヒメの出会いからさまざまなチャレンジし続けたストーリ
ーを話し、サクヤヒメ自身が夢をカタチにするプロセスを知ってもらい、大人のチャレンジギフトが伝わったこと
を感じる時間でした。

閉会挨拶は一般社団法人万博サクヤヒメ会議のメンバーを代表して、横山桂子から今回のシンポジウムについて、さまざまなチャレンジを経て、中学生はもちろん関係者のみなさまに支えていただき、このイベントを成し遂げることが出来たことへの感謝を伝えると、これからの私たち自身の「わくミラ★チャレンジ」について、「改めて私たち自身、どんなことをしたいのか？についてしっかりと考えてゆくので、ぜひ、今後も一緒に関わっていただきたい」という言葉で締めくくりました。

これからも「わくミラ★チャレンジ 2035」実現に向けて楽しみながら、進んでゆきたいと思います。

改めまして、この数か月で大きな成長を遂げた中学生に未来バトンはしっかり渡せたのかと感じております。

最後になりますが、協力いただきました中学校の皆様、関係者の皆様、本当にありがとうございました。



本件お問合せ先：一般社団法人万博サクヤヒメ会議





本件お問合せ先: 一般社団法人万博サクヤヒメ会議

